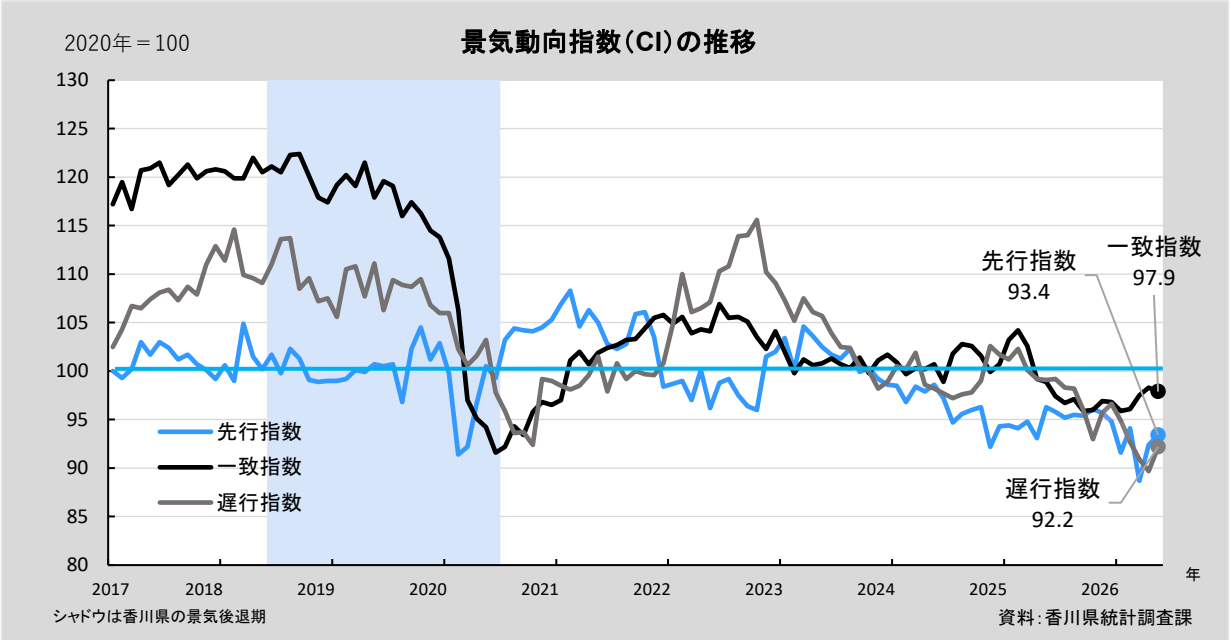
香川県内経済の動き　　2026.7 月～8 月

概況	持ち直している。
個人消費	緩やかな増加基調にある。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	持ち直しの動きがみられる。
生産活動	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用情勢	持ち直しの動きに弱さがみられる。
貿易	輸出は減少、輸入は増加している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数（かがわ CI）　　一致指数　4 カ月ぶり下降



景気の現状をみると、7 月の CI 一致指数は 97.9（前月比▲0.4 ポイント）と 4 カ月ぶりに下降。CI 先行指数は 93.4（同+1.0 ポイント）と 2 カ月連続で上昇。CI 遅行指数は 92.2（同+2.5 ポイント）と 5 カ月ぶりに上昇。

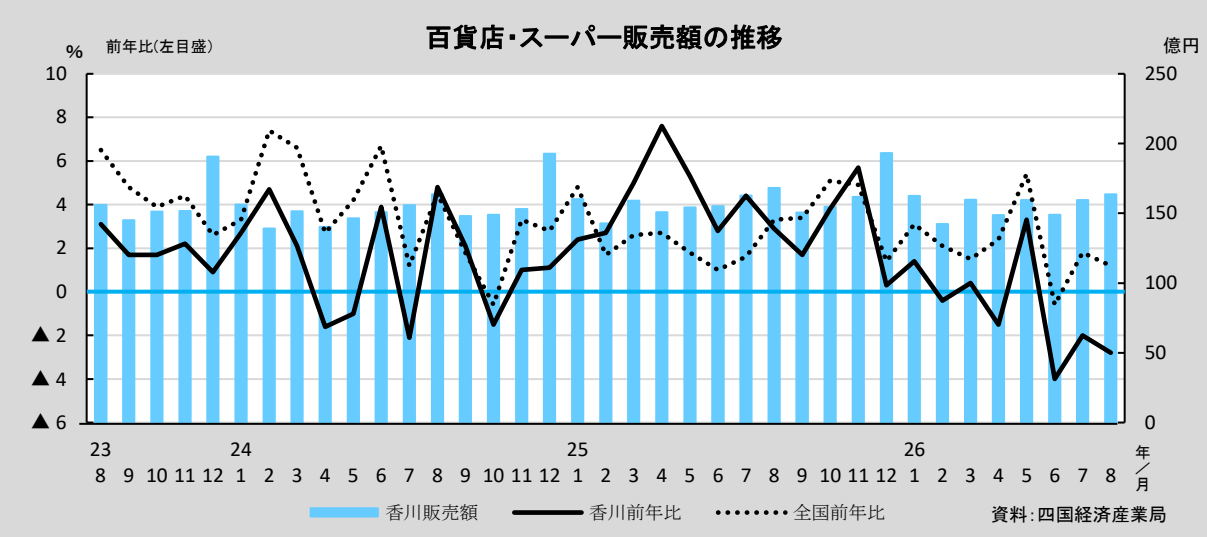
景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、鉱工業生産指数等がマイナスに寄与し、4 カ月ぶりに下降となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用景気指標	1 新規求人数	1.30	1 雇用保険受給者実人員	1.13	1 常用雇用指数	0.13
	2 乗用車新車登録台数		2 有効求人倍率	▲ 0.56	2 有効求職者数	▲ 0.50
	3 鉱工業在庫率指数	▲ 0.68	3 所定外労働時間指数	▲ 0.85	3 消費者物価指数	0.65
	4 新設住宅着工戸数	0.85	4 鉱工業生産指数	▲ 0.61	4 家計消費支出	0.99
	5 金融機関貸出残高	▲ 1.28	5 鉱工業出荷指数	▲ 0.00	5 鉱工業在庫指数	0.01
	6 消費者態度指数	0.86	6 建築着工床面積	0.23	6 法人事業税調定額	1.49
			7 百貨店･スーパー既存店販売額	0.26	7 第3次産業活動指数	▲ 0.20

個人消費　　緩やかな増加基調にある

●百貨店・スーパー販売額

3カ月連続減少

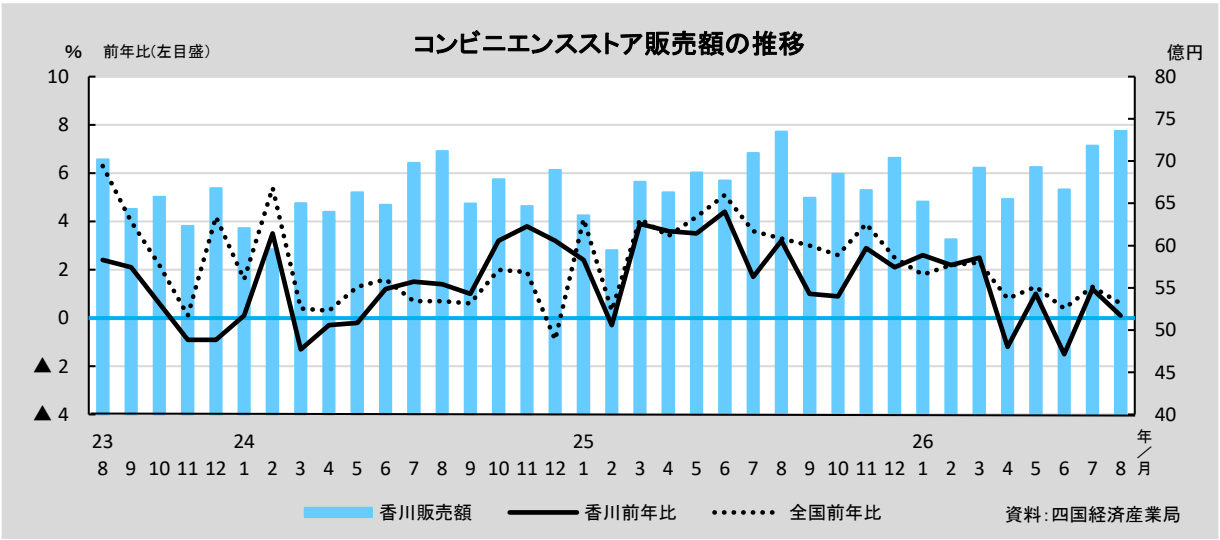


2026/8月	衣料品	身の回り品	飲食料品	家具	家庭用電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(百万円)	765	626	12,751	21	57	694	1,443	6	16,363
前年同月比(%)	▲ 5.8	▲ 8.2	▲ 0.7	19.2	21.2	▲ 6.0	▲ 14.3	6.1	▲ 2.8

8月の百貨店・スーパー全店（89店）の販売額は163.6億円で、前年同月比▲2.8%と3カ月連続で減少した。「その他の商品」は高級時計などの高額品の動きが鈍く前年同月比▲14.3%、「身の回り品」は服飾雑貨が低調で同▲8.2%、「衣料品」は紳士服・婦人服ともに動きが鈍く同▲5.8%と前年を下回った。

●コンビニエンスストア販売額

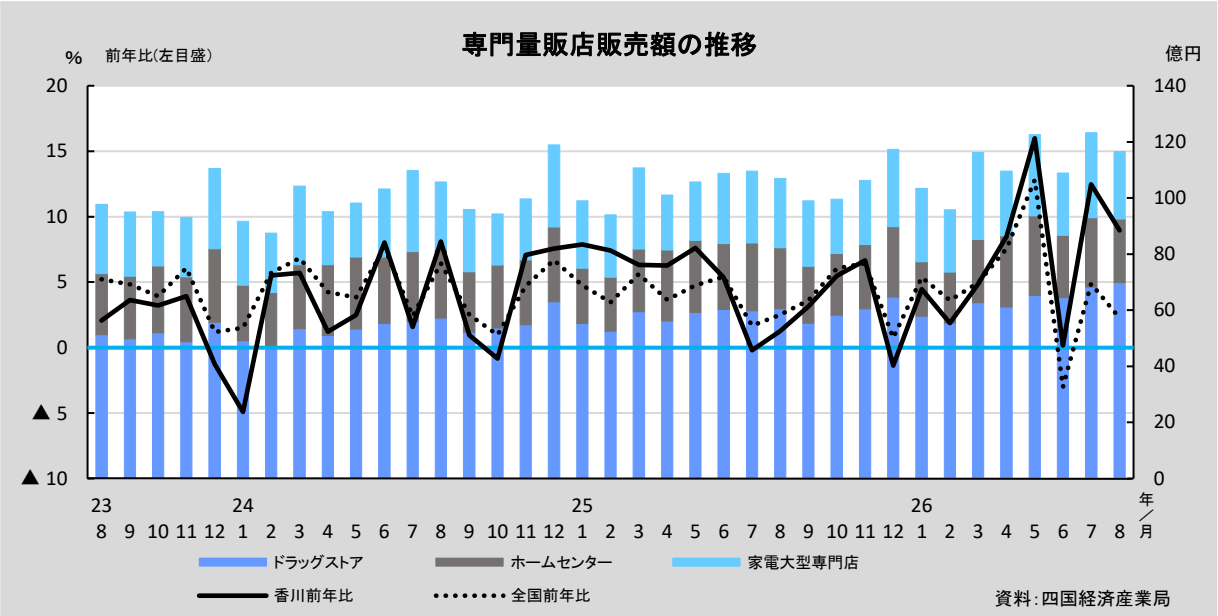
2カ月連続増加



8月のコンビニエンスストア全店（408店）の販売額は73.6億円で、前年同月比+0.1%となり、2カ月連続で増加した。

●専門量販店販売額

8カ月連続増加

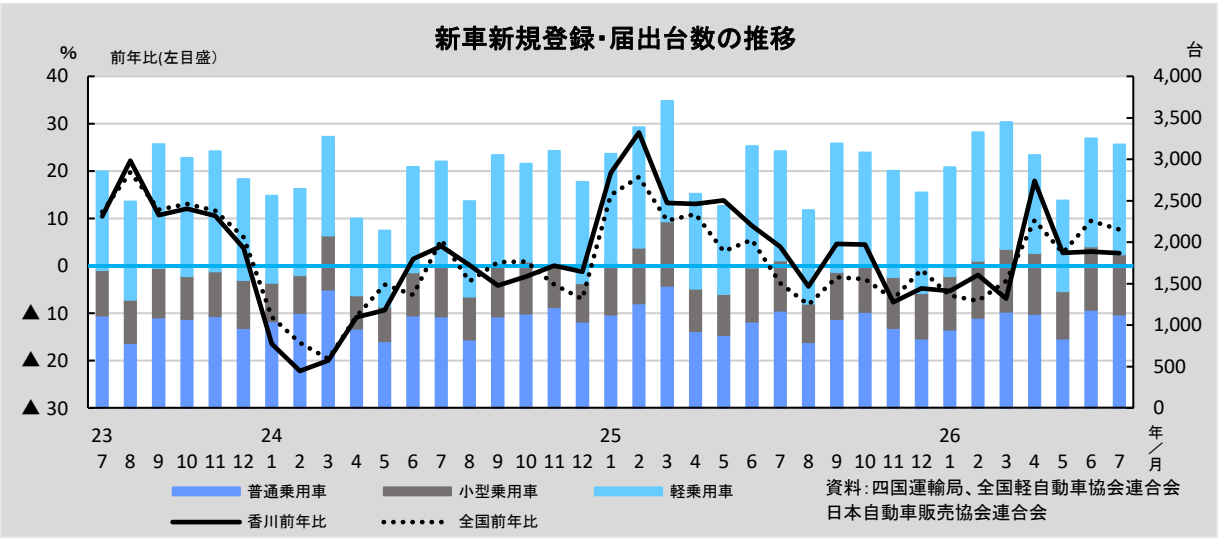


8月の専門量販店全店（248店）の販売額116.6億円で、前年同月比+9.0%と8カ月連続で増加した。

業態別にみると、家電大型専門店（27店）の販売額は24.2億円で前年同月比▲2.4%となった。ドラッグストア（176店）の販売額は、69.8億円で同+15.5%となった。ホームセンター（45店）の販売額は、22.7億円で同+3.8%となった。

●新車新規登録・届出台数

4カ月連続増加



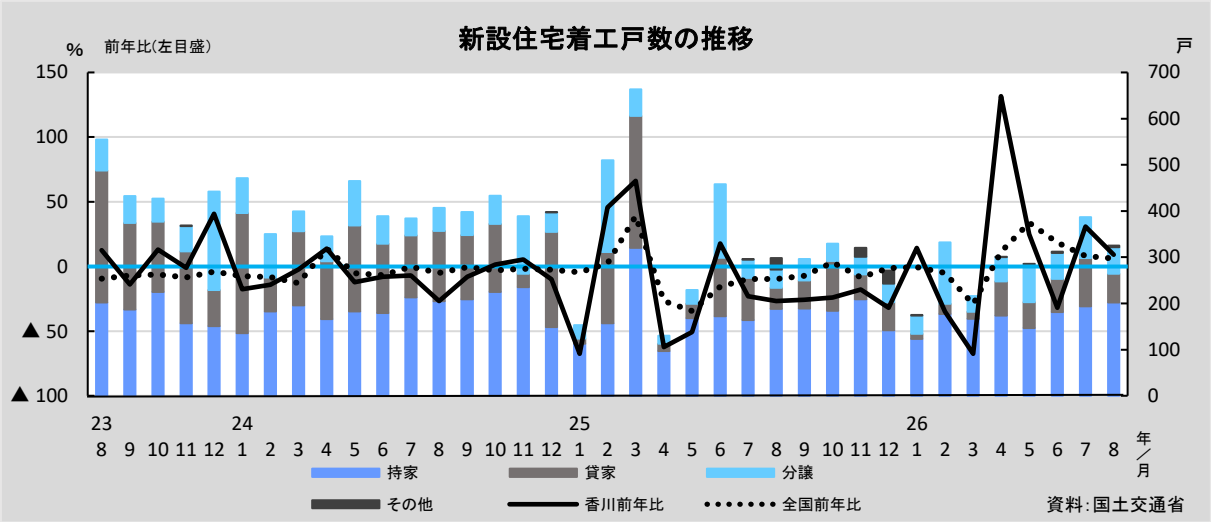
7月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は3,180台で、前年同月比+2.7%と4カ月連続で増加した。

車種別にみると、普通乗用車は前年同月比▲4.1%、小型乗用車は同+19.9%、軽乗用車は同+0.8%となった。

住宅投資　　低調に推移している

●新設住宅着工

2カ月連続増加 ↑

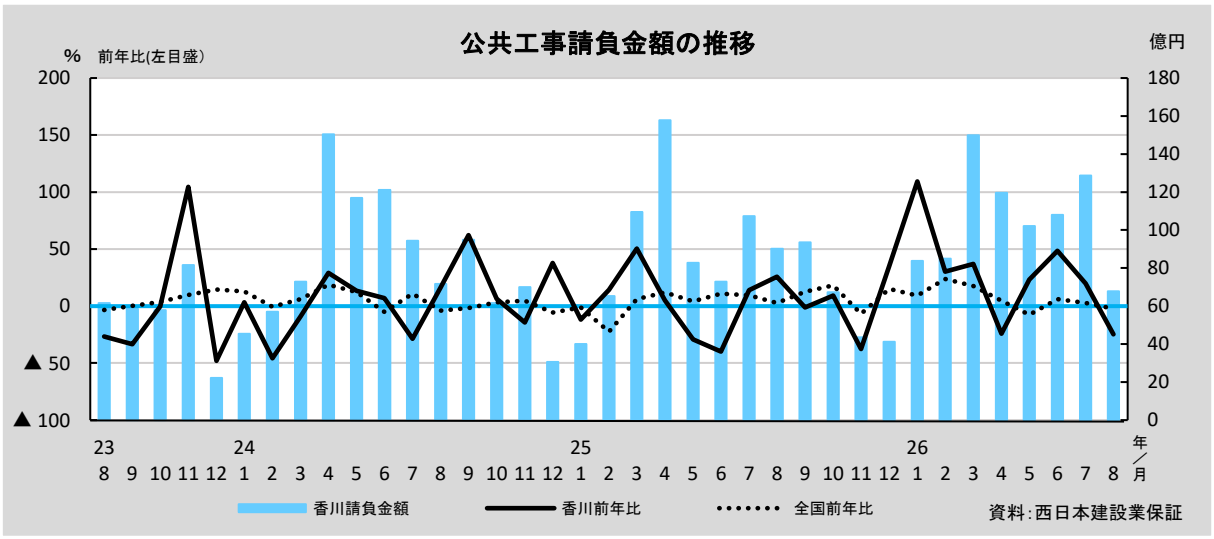


8月の新設住宅着工戸数は325戸で、前年同月比+9.1%と2カ月連続で増加した。利用関係別にみると、持家で前年同月比+7.4%、貸家で同+34.8%、分譲住宅で同+48.7%となった。

公共投資　　持ち直しの動きがみられる

●公共工事請負金額

4カ月ぶり減少 ↓

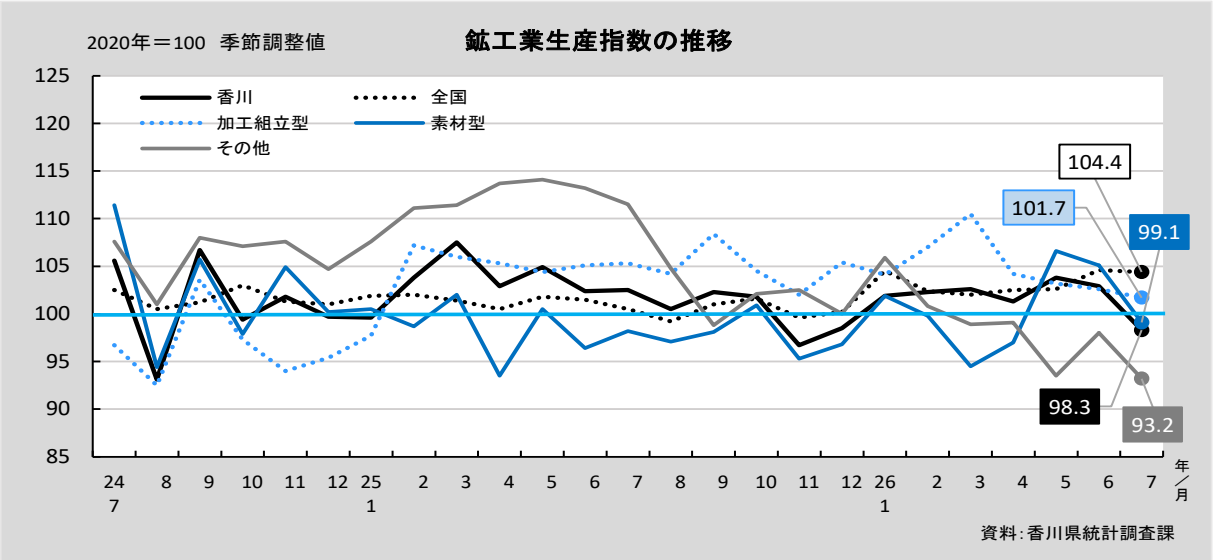


8月の公共工事請負金額は67.7億円で、前年同月比▲24.8%と4カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、国・独立行政法人等で前年同月比▲34.9%、県で同▲7.5%、市町で同▲40.0%となった。2026年度（2026.4月～8月）の累計では前年同期比+3.0%と増加している。

生産活動　　横ばい圏内の動きとなっている

●鉱工業生産指数

2カ月連続低下 ⬇



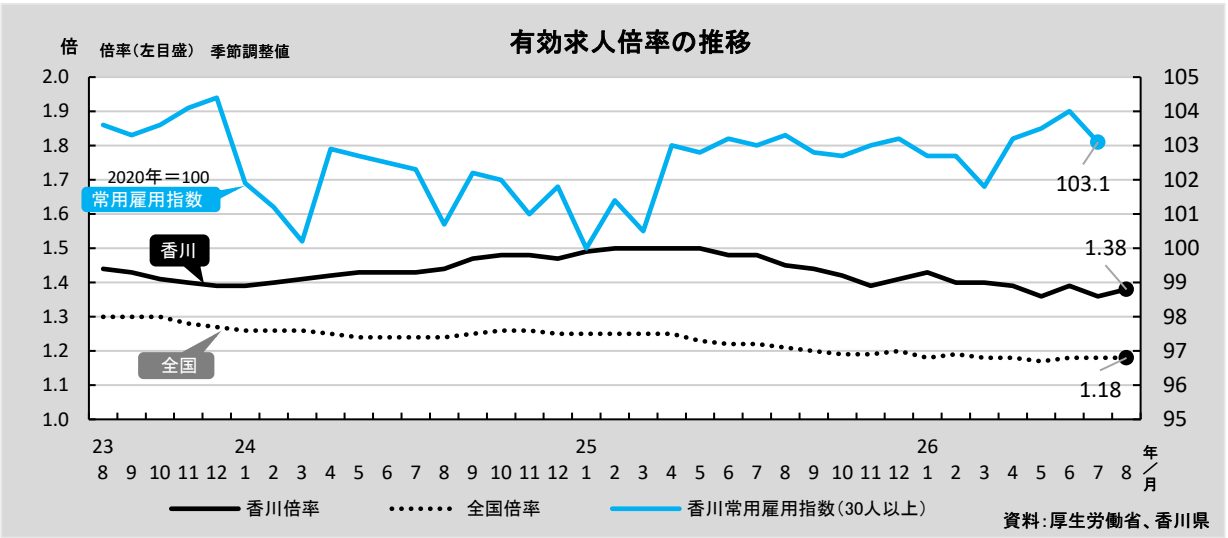
7月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は98.3（前月102.9）となり、2カ月連続で低下した。

業種別では、素材型のプラスチック製品工業（フィルム・シートなど）は前月比▲18.7%、加工組立型の汎用・生産用機械工業（建設用クレーンなど）は同▲5.8%と低下した。一方、加工組立型の輸送機械工業（舶用ディーゼル機関など）は同+9.6%と上昇した。

雇用情勢　　持ち直しの動きに弱さがみられる

●有効求人倍率

2カ月ぶり増加 ⬆



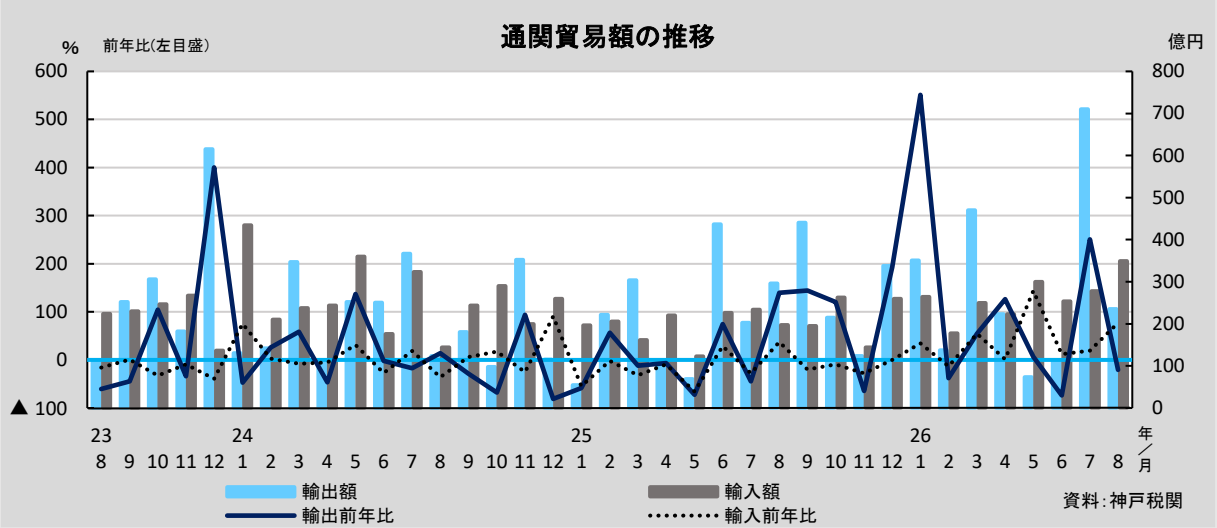
8月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.38倍（全国8位）と前月から0.02ポイント上回った。

新規求人（原数値：前年同月比）は、サービス業（他に分類されないもの）、宿泊業・飲食サービス業、建設業等で減少となり、全体で▲4.4%と2カ月ぶりに減少した。

7月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、103.1となり、前年同月比+0.1%と18カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.34
事務的職業	0.60
販売の職業	2.12
サービスの職業	2.86
生産工程の職業	2.08
輸送・機械運転の職業	2.47
建設・採掘の職業	6.52
運搬・清掃・包装等の職業	1.05

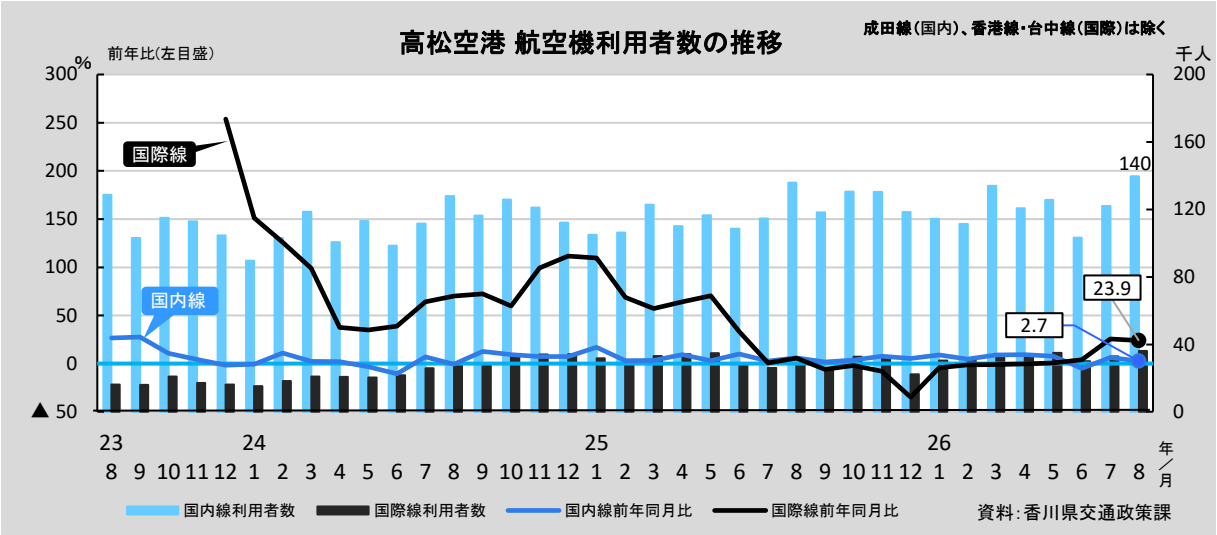
貿　易　　輸出は減少、輸入は増加している



8月の輸出額は前年同月比▲20.6%の234.8億円、輸入額は同+77.0%の349.1億円となり、差し引き114.3億円の入超となった。輸出は前年228億円だった貨物船輸出額がゼロとなり減少に寄与した。輸入は石炭輸入額が前年同月比2倍の96億円となり増加に寄与した。

交　通　　国内線は2カ月連続増加、国際線は4カ月連続増加

●高松空港旅客輸送実績

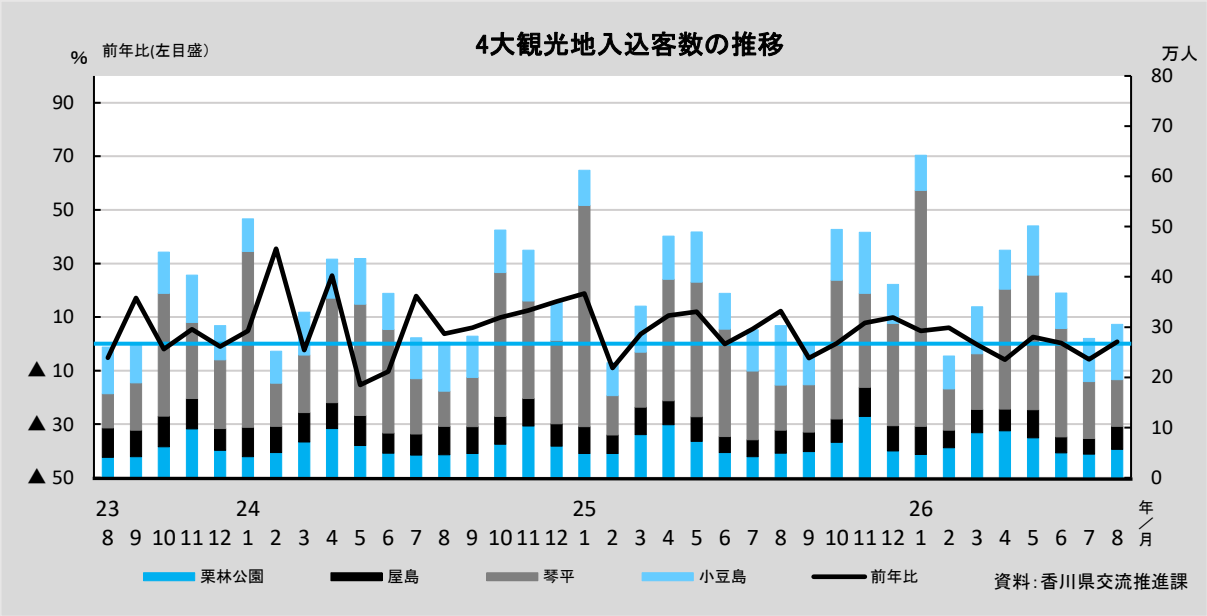


8月の航空機利用者数は、国内線（羽田・那覇線）が139,619人（前年同月比+2.7%）となり、2カ月連続で増加した。羽田線は130,078人（同+2.9%）、那覇線は9,541人（同▲0.5%）となった。

国際線は、ソウル線22,268人（同+36.6%）、台北線9,283人（同+17.1%）、釜山線4,519人（全増）で、合計36,070人（同+23.9%）と4カ月連続で増加した。

観　光　　持ち直しの動きが続いている

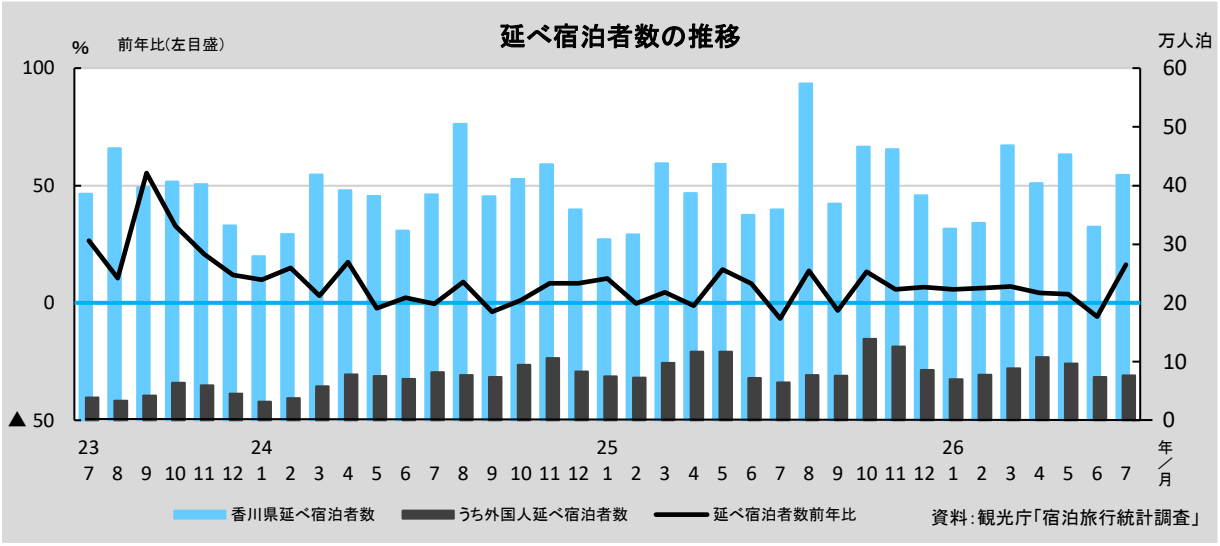
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園		屋島		琴平		小豆島		合計	
8月(人)	前年同月比	56,454	15.5%	45,844	0.1%	93,000	3.3%	109,841	▲7.1%	305,139	**0.7%**
1~8月累計(人)		521,744	4.2%	345,655	▲2.2%	1,592,000	0.8%	670,770	▲2.1%	3,130,169	**0.4%**

8月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+0.7%と2カ月ぶりに増加した。栗林公園は前年同月比+15.5%、屋島は同+0.1%、琴平は同+3.3%と増加した。一方、小豆島は同▲7.1%と減少した。1~8月の累計では前年同期比+0.4%と増加を維持している。

●延べ宿泊者数



7月の延べ宿泊者数418,320人泊で、前年同月比+16.4%と2カ月ぶりに増加した。うち、外国人延べ宿泊者数は76,640人泊となり、前年同月比+19.2%と2カ月連続で増加した。